

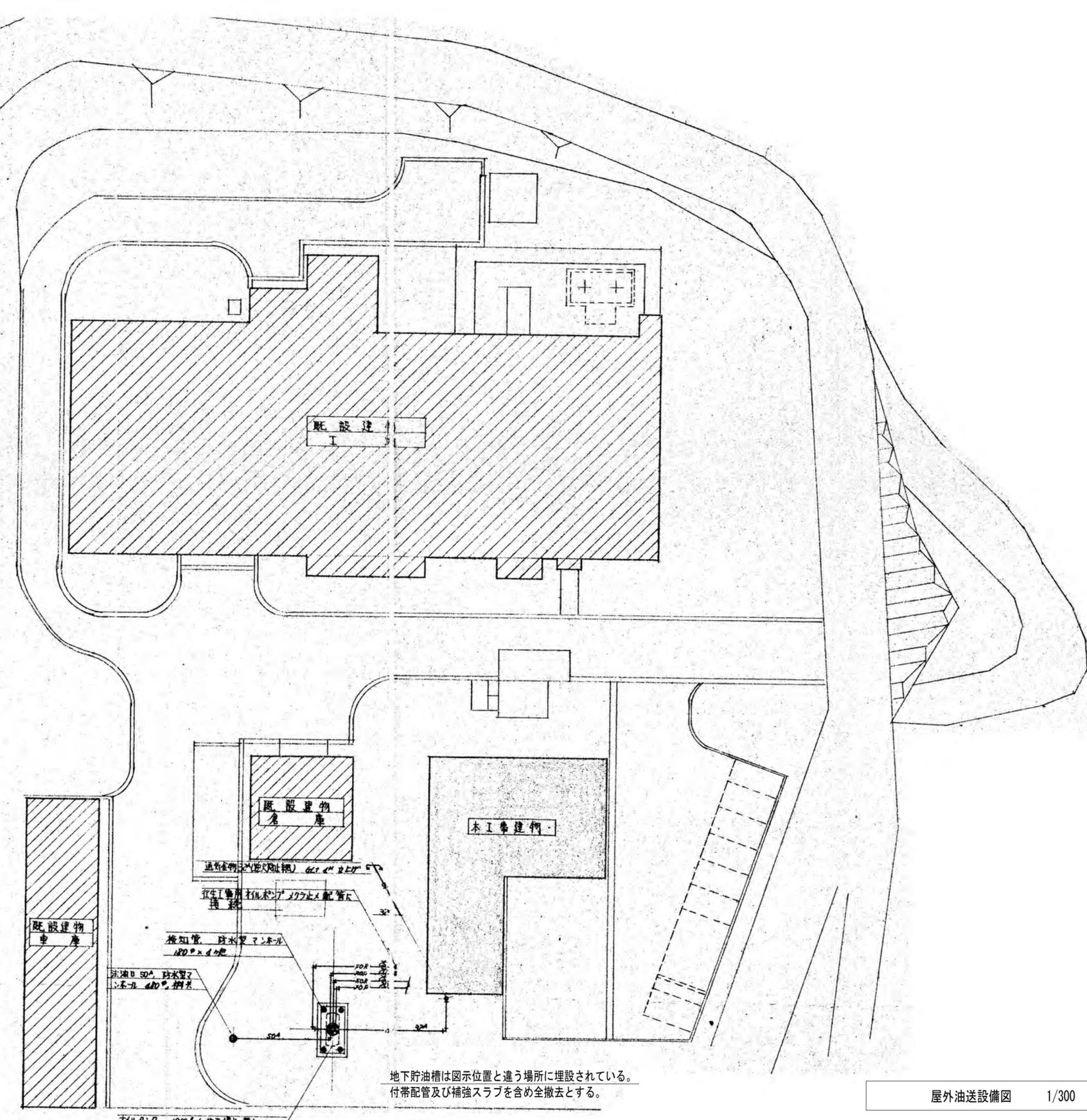
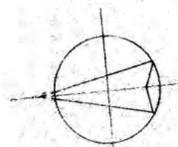
仕様書 現況工事内容は下記に基づいて施工されているものを全撤去する。

工事名称	海部郡ゴミ焼却処理施設管理棟 増築工事の内 空調設備工事		
工事場所	海部郡		
一般事項	本工事は、本仕機置 図面、請負契約書 及び、日本建築協会編建築設備工事共通仕様書に基づき、各関係官庁の規定に準拠し、係員の指示に従い施工する。 又、諸官庁に対する手続も一切を行い、その費用は、本工事 請負業者負担とする。		
工事種目	1 機器設備工事	2 冷温水配管設備工事	
	3 冷却水配管設備工事	4 ドレイン配管設備工事	
	5 オイル配管設備工事		
使用材料	1 冷温水管 S G P 亜鉛鍍鋼管 JIS G 3452		
	2 冷却水管 S G P 亜鉛鍍鋼管 JIS G 3452		
	3 ドレイン管 V P 一般用硬質塩ビ管 JIS K 6741		
	4 オイル管 S G P 配管用炭素鋼管 JIS G 3452 (黒)		
	5 弁 類 直圧部 JIS 10kg/cm ² JIS B 2013		
メーカー指定	1 チーリングユニット 東芝 日立 三菱電機		
	2 クーリングタワー 東芝 日立 三菱電機		
	3 ファンコイルユニット 東芝 日立 三菱電機		
	4 ポンプ類 エバラ 川本 極東		
	5 温水ボイラー 愛知 巴商會 木村工機 昭和製		
	6 弁 類 東洋 北沢 三吉		
特記事項	1 本工事は、工事着手前に 施工図、承認図を作成し、係員の承認を得た後 着工の事。 2 保温・塗装 a 冷温水管 i) 隠ぺい グラスウール保温筒 40% + アルミ箔 + ミニ甲金網 ii) 屋内外露出 〃 + 厚紙 + 綿テープ + 目上メ + 塗装 2回 b 冷却水管 i) 屋内外露出 鉛止め + OP 2回 c ドレイン管 i) 隠ぺい グラスウール保温筒 20% + アルミ箔 + ミニ甲金網 ii) 屋内外露出 OP 2回 d オイル管 i) 埋 設 アスファルトジョイント焼付 ii) 屋内外露出 鉛止め + OP 2回 e 弁 類 (冷温水管) i) 隠ぺい グラスウール保温筒 50% + アルミ箔 + ミニ甲金網 ii) 屋内外露出 〃 + アスファルトシーリング + 亜鉛鍍板 + OP 2回		

機器表 撤去機器を示すもので、付属品を含め全撤去する。

名 称	仕 様
チーリングユニット	水冷式、冷房能力 52,400 kcal/h、圧縮機 7.5kW × 2台、電源 3φ 200V、冷水流量 10,600ℓ/h (7℃)、水頭損失 5.6m、冷却水流量 14,000ℓ/h、凝縮機並径 4.5m、コンクリート基礎 300 ^H
クーリングタワー	冷却能力 78,000 kcal/h、冷却水循環水量 260ℓ/min、水頭損失 23m、送風機 0.75kW × 3φ 200V、コンクリート基礎 300 ^H
ファンコイルユニット	
FC-8	吊木型、冷房能力 2,000 kcal/h (7℃)、暖房能力 2,800 kcal/h (50℃)、FAN 170 ^W × 1φ 100V
FC-100	床置型、冷房能力 6,300 kcal/h (7℃)、暖房能力 7,800 kcal/h (50℃)、FAN 190 ^W × 1φ 100V、木台
〃 - 600	〃、冷房能力 4,200 kcal/h (7℃)、暖房能力 5,700 kcal/h (50℃)、FAN 123 ^W × 1φ 100V、〃
〃 - 400	〃、冷房能力 3,200 kcal/h (7℃)、暖房能力 4,000 kcal/h (50℃)、FAN 69 ^W × 1φ 100V、〃
空調パナト型上ト	壁掛型、冷房能力 2,240 kcal/h、暖房能力 3,000 kcal/h、圧縮機 0.75kW × 1φ 200V、
ポンプIPJIN (A)	FAN 18 ^W (内) 23 ^W (外)
冷却水循環ポンプ	50 ^φ × 260ℓ/min × 10m × 1.5kW、3φ 200V、うず巻型、GY、CV、PG、7Lキ継手、コンクリート基礎 300 ^H
冷水循環ポンプ	40 ^φ × 180ℓ/min × 15m × 1.5kW、3φ 200V、うず巻型、GY、CV、PG、7Lキ継手、冷水パイプ断熱：グラスウール保温板 50% + ターフェルト + ミニ甲金網 + 亜鉛鍍板 + 塗装、コンクリート基礎 300 ^H
温水循環ポンプ	40 ^φ × 120ℓ/min × 8m × 0.4kW、3φ 200V、ライン型、(断熱は上記と同じ)
オイルポンプ	20 ^φ × 16ℓ/min × 7m × 0.2kW、3φ 200V、GY、CV、PG、7Lキ継手、コンクリート基礎 300 ^H
温水ボイラー	出力 50,000 kcal/h、Hs 1.95m、A重油焚、燃料消費量 7.2ℓ/h、バーナ出力 1φ 100V × 0.25kW、煙道 150 ^φ 、煙道断熱：70 ^φ 酸アルシム保温板 75% 2枚巻 + ミニ甲金網 + 亜鉛鍍板、コンクリート基礎 200 ^H
膨張タンク	40 ^φ 、400 × 400 × 400 ^H × 3.2 ^t 、ブラケット、内面、イボキ樹脂、外面、鉛止め + 鋼鉄 + グラスウール保温板 + 亜鉛鍍板 + 塗装
オイルサービスタンク	200 ^φ 、600 × 500 × 700 ^H × 3.2 ^t 、架台 1000 ^H 、フロアに油面計、通気金物、防油堤、
オイルタンク	1900ℓ、地下埋設、油検尺管、注油口、計量口、検知管、その他附属品一式、消防検査合格品
註 記	チーリングユニット、冷水、冷却水ポンプのサクシオン、デリバリー側には、7Lキ継手使用の事、又左記の機器及びポンプのサクシオン、デリバリー側は、温度計を取付ける。

- A棟：管理棟
図示した器具、機器、配管等を全撤去する。
 - B棟：作業員休憩室・準備室
床付ポンプ5.5KW、付属配管等を全撤去する。
 - C棟：駐車場・倉庫
 - D棟：駐車場・倉庫・分別ゴミ置場
ガス給湯機16号、給水配管、給湯配管等を全撤去及び水栓、水栓柱等を全撤去する。
ガスメーター、ガス配管等を全撤去する。
- 注記
器具、機器は図面に示す位置と違う場所に設置されている場合がある。
建物内外の付帯配管、埋設物付属品を含め全撤去する。



地下貯油槽は図示位置と違う場所に埋設されている。
付帯配管及び補強スラブを含め全撤去とする。

屋外油送設備図 1/300

GENERAL PLANNING
EXECUTIVE DESIGN

株式会社 平島弘之+ TEAM28
HIROYUKI HEISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES

TITLE 令和6年度 管理棟他解体工事	DATE
DRAWING 屋外油送設備図	SCALE A2 : 1/300 A3 : × 71%
CHECK	NO 30 M-02

一級建築士 第152422号 藤山仁志

